

資産家が遠くに山を持っている程度で、その材木も直接トラックで大阪へ運搬される為、日高港の製材工場は外材に頼っているということ等がわかった。午後はアメリカ村で有名な美浜町三尾地区へ行き2～3人づつに別れ戸別訪問による地域調査を行った。その結果この村の移住地はカナダが多く、その原因として地形が狭少な上、港の整備も悪く、農業でも漁業(2t程度の小型船で漁獲物はあわび・さざえ・いせえび等)でも生計が立たないこと等があげられた。現在では367戸のうち300戸がカナダ・アメリカの移民と関係があり、37戸が空家となっているということがわかった。また三尾地区の多くの家は高いへいに囲まれ、本瓦の屋根は漆くいが塗られ、長く張り出された軒の先端と地面の間は地面から1.5mあたりまで「さし板」というものが横に張り渡され雨風が直接雨戸に当たらないようになっている。その為家の中はかなり暗かった。台風襲来地における特異な家屋景観であった。

3月8日 この日は調査を行わず、和歌山を通過して奈良の桜井に向い、正午に正井先生の奈良巡検に引き継がれた。(4年 松崎正子)

奈良・京都巡検 (正井先生)

3月8～10日

8日 八木西口駅より出発し、徒歩で今井町に向い。称念寺を中心とした寺内町で、幅3.5mの格子状道路網に天井の低い家々が密集している。防衛のために町にめぐらされていた堀は、現在ごくわずか残っているのみである。その後畝傍山に登る。標高199mで山というには低いが、大和三山の中では一番高く、奈良盆地を一望できる。ここから見ると、今井町は他の町の家並と違い、黒々とした日本瓦が重々しく密集しており、盆地全体としてかなり宅地化の進んでいることがわかる。

午後5時半に宿泊地である信貴山に到着。

9日 早朝は鶯の鳴き声をききながらの信貴山見学、それから大和郡山に向い。典型的な環濠集落として稗田の集落を見学する。堀はほぼ完全に残っており、家々は土壁に囲まれ、狭い道路が迷路のように走って、まるで中世の町並そのままを残しているかの様だ。

午後は天理市に向い。国鉄天理駅に近づくとつれて、車窓の景色に一種独特な大きな建物が目立ちはじめってくる。駅前には地方都市にしては大きすぎる広場があり、幅の広い道路が一直線に駅か

ら、ひととき大きな建物に向ってつくられている。この建物が天理教本部で、建物のほとんどは天理教関係のものばかり、道行く人は天理教と書かれた黒い上着をきている。本部を見学したが、信者たちの勤労奉仕で塵ひとつなく、宗教が隅々までゆきわたっている感じで、終始圧倒され通してあった。

10日 宇治市の小倉で下車し、巨椋干拓地と新興住宅地を見学。住宅地は二階建の長屋形式によるものが多く、関西地方独特の建て方のようにある。驚いたことに、建築材料は新建材ではなかった。関東では土壁など使っていないが、今でも関西では土を粘って壁としていた。建築中の大工さんは誇らしげに言った。「東京みたいに新建材なんか使わない」と。

午後は京都市内を見学する。清水寺・祇園の町家・町割りを主として見る。間口は狭く、奥行の長い町屋・狭く薄暗い道路、人通りも少なく、昼間の祇園は寂しいくらいだ。

伝統深い奈良・京都のほんの一部を見たにすぎないのだが、伝統保存か地域開発か、新旧が不釣り合いに混在している現実、地域にとってはどちらがよいものか、複雑な気持ちでこの巡検を終えた。

(4年 大関百合子)

外国製掛地図

地理教育の教材にフィリップ社製掛地図をおすすめします。

Philip's World.	122 × 180 cm	1 : 2,400,000	¥ 12,000
// Asia.	178 × 180 cm	1 : 600,000	¥ 12,000
// Africa.	173 × 119 cm	1 : 750,000	¥ 12,000
// Europe.	157 × 175 cm	1 : 300,000	¥ 12,000
// Australia.	122 × 178 cm	1 : 300,000	¥ 12,000
// N. America.	150 × 119 cm	1 : 650,000	¥ 12,000
// S. America.	178 × 119 cm	1 : 600,000	¥ 12,000

その外世界各国の地理書・地図帳・官製地図をとりそろえております。

地理書・地図専門輸入

内外交易株式会社

(150) 東京都渋谷区広尾一丁目7番3-107号 TEL 東京(03)400局2326